



2021K

「なにか×スパコン (SC)」というテーマを掲げることにより、その「なにか」の分野とスパコンの分野で新しい共同研究が生まれることを期待したシンポジウムです。様々な分野にコンピュータが利用されている現在では、スパコンセンターのあり方もこれまでとは変わる必要があります。そこで、これまでのスパコン利用者だけでなく、新しい分野にスパコンを使ってもらい、より良い成果やこれまでにない成果の創出に繋がるきっかけ作りが必要となります。今回はその「なにか」を「行動学」とし、スパコンとは直接的に関係の無い「行動学」を行っている研究者の方にご講演いただき、「SC」と「行動学」でお互いに何かできることは無いかを最後に議論し、新しい可能性を見つけ出します。

2021年9月29日[水] 13:30-19:00

場 所：オンライン開催

申込URL：<https://forms.gle/XnH84di2iNCiLbKx5>

- 13:30 - 13:40 ● はじめに
深沢 圭一郎 (京都大学学術情報メディアセンター 准教授)
- 13:40 - 14:25 ● 数理モデルで読み解くウマの群れの維持機構
井上 漱太 (名古屋大学環境学研究科 JSPS特別研究員 (PD))
- 14:25 - 15:10 ● 定量データから迫るアリの社会的行動
阿部 真人 (理化学研究所革新知能統合研究センター 研究員)
- 15:10 - 15:55 ● 粘菌の輸送網形成に学ぶ逐次改善型ヒューリスティクス
中垣 俊之 (北海道大学電子科学研究所 教授)
- 16:15 - 17:00 ● リアルスケール社会シミュレーションによる未来社会の選択
村田 忠彦 (関西大学総合情報学部総合情報学科 教授)
- 17:00 - 17:45 ● 公共空間におけるカメラ映像を利活用した人流分析実証実験
高野 茂 (九州先端科学技術研究所 イノベーション・アーキテクト/
九州大学持続的共進化地域創成拠点 客員准教授)
- 17:45 - 18:30 ● 総合討論
- 18:30 - 19:00 ● まとめ

シンポジウム

スーパーコンピュータに関する

行動学と